

# 日本全国知り尽くそう

自治税務局市町村税課  
諸税係長 兼任 大都市税制係長

岡本 理恵

## 誰かのために、日本のために

平成 23 年 3 月 11 日。東日本大震災が発生した当時、私は消防庁総務課に所属していました。発生直後から消防庁はすぐに災害対策本部を設置し、情報収集等に奔走しました。前年に消防庁と一緒に働いていた方が仙台市消防局に戻られており、自身も被災者であるのに、消防車を動かすための燃料が届かないどうかしてくれと怒りのこもった電話を受けたときには胸が熱くなりました。一刻も早く燃料を届けように対応しました。

そして私は今、自治税務局市町村税課で市町村税について担当しています。当職においても、津波や原発の被害に遭われている方々に対して軽自動車税を非課税とする特例などを創設しました。被災されて辛い思いをされている誰かのために、日本のためになれたらと思いつつながら制度を作りました。

## 北海道への赴任

地方自治部局では地方自治体への赴任の機会があります。私は憧れの北海道に赴任させて頂きました。

私の北海道での業務は、市町村財政及び公営企業に関する業務でした。北海道は当時 180 の市町村が存在し、それぞれの市町村が抱える事情や問題を把握するのは大変でした。市町村名からして読めない所がたくさんありました。（「音威子府村（おといねっむら）」、「興部町（おこっぺちょう）」って読めますか？）それでも、北海道赴任中の 2 年間で 180 市町村を回り、実際に風景や食べ物、文化に触れながら、北海道を知っていきました。そして、帰る頃には北海道が大好きになっていました。皆さんにもそういう経験を是非して頂きたいです。

## 魅力的な出会い

先程の赴任先の話も含めて、総務省には出会いがたくさんあります。職場には、地方自治体出身の職員がいます。彼らは実務に長けており、議論を実務の面から指摘してくれます。それだけではなく、地元のお土産を持ってきてくれたり、名物を教えてくれたりもするので、東京にいながらにして、日本全国のことを知る事ができるんです。

総務省は、自らの地方自治体への人事交流でその自治体を知ることができるだけでなく、霞ヶ関にいながらにして地方自治体を知ることができる省です。政策は、まずは一人の住民のために考え、そして日本全国のために考えるものだと思います。そういうことを経験を通じて日々感じながら仕事をできるのが総務省の特色ではないでしょうか。是非一度総務省にいらして雰囲気を感じて下さい。

### PROFILE

平成17年10月 総務省採用  
自治行政局  
選挙部選挙課

平成19年4月 北海道企画振興部  
地域振興・計画局  
市町村課

平成21年4月 総務省消防庁総務課

平成23年4月 自治税務局市町村税課  
10月 現職

### とある一週間

- 月曜日** 軽自動車税についての税制改正要望について関係省庁からヒアリング。要望内容をよく確認します。
- 火曜日** 昨日ヒアリングした内容をとりまとめて今後の方針について上司に説明。了解を得たので局議にはかりません。
- 水曜日** 今日は、北海道赴任当時の同僚が珍しく東京出張。仕事を切り上げて飲みに行きます！
- 木曜日** 法律改正の案文を作成したので、内閣法制局に審査に向かいます。色々内容について詰められました……
- 金曜日** 国会議員から地方たばこ税について問い合わせ。資料を作成して相手方に送付します。
- 土・日曜日** 土曜はベリーダンス教室で汗を流します。先生のお手本に惚れ惚れ！



同僚の結婚祝賀会にて課の皆と(筆者二列目の中央)